

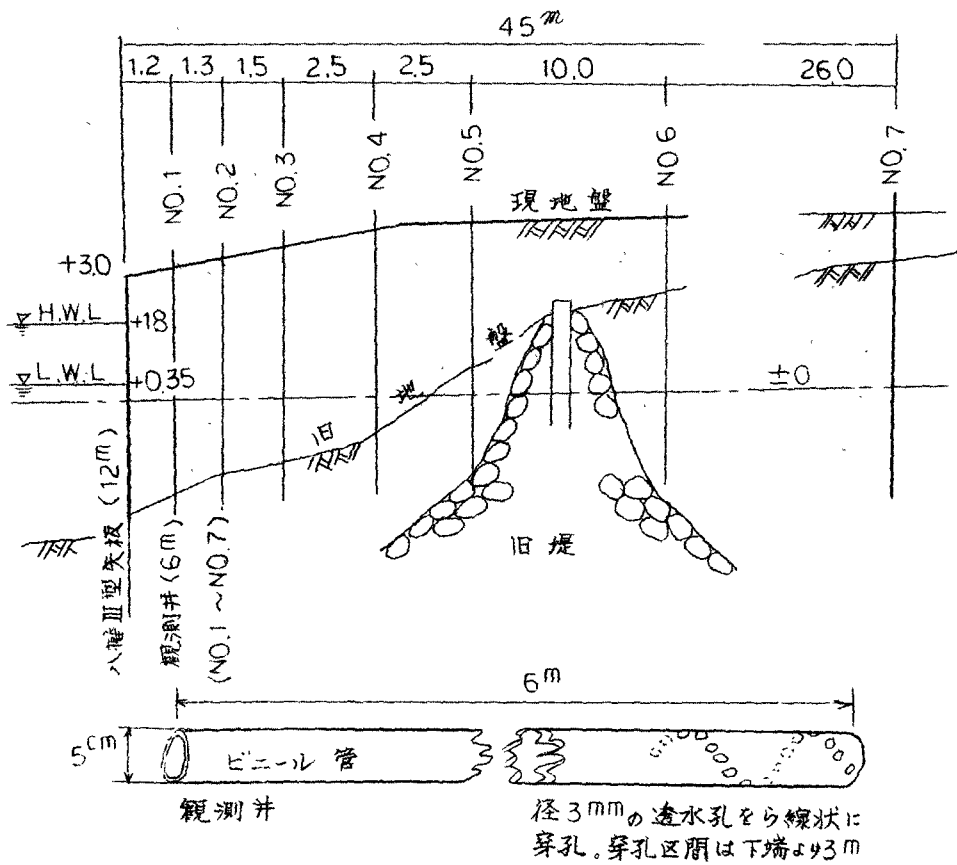
(Ⅲ-2) 埋立地地下水の実験的研究

大阪府土木部港湾課 正員 寺 西 宗 登
大阪大学工学部 正員 ○村 岡 浩 爾

矢板岸壁の埋立地における地下水が、潮位の変動に伴つていかなる挙動をなすかは興味深い問題である。筆者等は、才1図に示すような矢板岸壁を選んで埋立地に観測井を七ヶ所設置し、30時間にわたつて半時間毎に潮位と地下水位を観測した。この結果を才2図に示す。

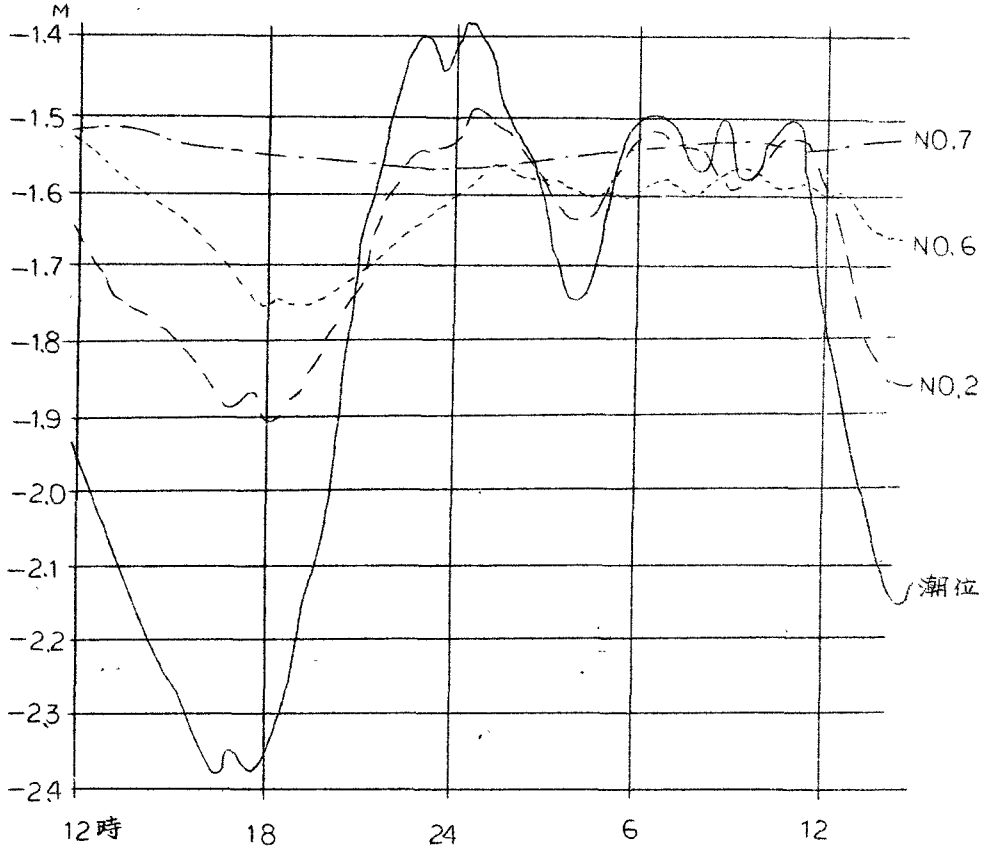
才2図から呈示される問題として、潮位変動と埋立地地下水位の変動との関係が単に埋立地の土質に関連するだけでなく、矢板の透水性がその境界条件として上の関係に複雑な影響を及ぼしているのではないかという点が考えられる。更に高潮等の振幅の大きい、しかも周期の短い潮位変動に対して、岸壁自体に及ぼす力の異常作用まで問題になつてくる。これらは適当な模型実験で、更に細かく研究されるべき問題であろう。

実地観測の解析と模型実験の結果及び理論的考察は講演時に詳述するつもりである。



才 1 図

(笠石頂部:0^M)



才 2 図